

新潟日報社 デジタル入稿ガイド

「新潟日報社 デジタル入稿ガイド」は、広告の制作や入稿に携わる方々がスムーズに紙面へ掲載いただくために、制作したものです。このたびPDF/X-4（新潟日報用）での入稿が可能となりました。ぜひ原稿の制作・入稿にお役立てください。

1 原稿データについて(1)

1. 入稿データの形式

○N-PDF形式 (PDF/X-1a準拠)

N-PDFは新聞広告に特化し作成されたPDFの規格です。原稿制作に関しましては日本広告協会 (JAAA) のWebサイトより「新聞広告デジタル制作ガイドN-PDF」の最新版をご参照ください。

Adobe PDFプリセット、Acrobat用プリフライトプロファイル2つも同サイトからダウンロードしてお使いください。入稿前には必ずAcrobatでプリフライトチェックを実施してください。

JAAAのWebサイトは

https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/

○PDF/X-4新潟日報用形式 (PDF/X-4:2008準拠)

PDF/X-4は透明効果機能も使用できます。PDF/X-4新潟日報用の Adobe PDFプリセット、AcrobatPro用プリフライトプロファイル2つは、下記編成部までメールにてお問い合わせください。原稿制作は透明効果以外はN-PDF形式準拠としてください。入稿前には必ずプリフライトチェックを実施してください。

ビジネス局編成部 (PDF/X-4担当)
hensei@nigata-nippo.co.jp

2. 原稿データ制作環境

○システム

MacOSX以上

※Windowsで制作されたデータの検証は実施しておりません。ご相談ください。

○使用アプリケーション

Illustrator CS2 以上

Photoshop CS2 以上

※アプリケーションは最新のバージョンにアップデートすることを推奨いたします。

※CS4以上を推奨いたします。

○プリフライトチェック

AcrobatPro 9以上

1 原稿データについて(2)

3. 制作の準備

(1) 設定ファイルの準備

○N-PDF用

JAAAのWebサイトから以下のファイルをダウンロードしてお使いください。

Webサイト：

https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/

Adobe PDFプリセット（カラー・モノクロ共通）

・ファイル名： N-PDF201207.joboptions

Acrobat用プリフライトプロファイル

・カラー用： N-PDF2012v1.3カラー単色.kfp

・モノクロ用： N-PDF2012v1.3モノクロ.kfp

○PDF/X-4 新潟日報用

設定ファイルは編成部へお問合せください。P2.1.1
設定ファイルはN-PDF用と同様に3ファイルあります。

(2) Illustratorで AdobePDFプリセットの読み込み

「編集」→「AdobePDFプリセット」を選択→「AdobePDFプリセット」ウィンドウの中の「読み込み」をクリック→AdobePDFプリセットファイルを読み込む

(3) AcrobatProでプリフライトプロファイルの取り込み

①「ツール」→「印刷工程」→「プリフライト」で「プリフライト」ウィンドウを開く

②「オプション」→「プリフライトを取り込み」でカラー用・モノクロ用の各プリフライトプロファイルを取り込む

(4) 色について

Illustrator・Photoshopともにカラー原稿はCMYK、モノクロ原稿はグレースケールを使用してください。RGB、スポットカラー（カスタムカラー）は使用できません。

※カラー原稿の印刷見本はNSAC（日本新聞アドカラー）またはJCN（新聞用ジャパンカラー）に準拠した新聞用のプルーフ用紙で印刷した見本を3枚ご用意ください。

※総インキ量（TAC値）は最大250%です。

(5) 新規原稿制作時の設定について

- ・「アートボード」のサイズは原稿サイズに設定してください。
- ・「裁ち落とし」の天・地・左・右は「0mm」に設定してください。
- ・「カラーモード」は「CMYK」に設定してください。
- ・「ラスタライズ効果」は解像度を「高解像度300ppi」に設定してください。

1 原稿データについて(3)

4. ファイル名について

入稿される原稿データのファイル名は、広告主名・掲載日・刊別・サイズ・色など申し込みが特定できるようなファイル名を付けてください。ただし、拡張子(.pdf)も含めて31文字(半角31文字、全角1文字は半角2文字分)以内としてください。

例1：日報商事、2023年6月20日付朝刊、全5段カラー
⇒ 20230620日報商事5d4C.pdf

例2：日報食品、2023年6月25日付おとなプラス、
4段1/2カラー
⇒ 日報食品0625おと半4カラー.pdf

例3：日報タクシー、2023年7月20日付朝刊、
暑中見舞い名刺企画1枠モノクロ
⇒ 日報タクシー20230720暑中.pdf

例4：日報工業、2023年6月朝刊年極、2段5cmモノクロ
⇒ 日報工業202306年極2d5cm.pdf

※アルファベットや数字は半角使用可です。機種依存文字は使用しないでください。スラッシュ(/)などの記号文字は全角でお願いします。

※濁点、半濁点は使わないよう、お願いいたします。

例：パンダ⇒ハンタ、PANDAなど

※圧縮解凍によりファイル名が文字化けして判別できなくなること、データが破損することがありますので、圧縮ソフトでの圧縮はおこなわないでください。

5. 入稿締め切り

掲載日の2日前正午まで(土日祝は含みません)

※企画、別刷りにつきましては別途お問い合わせください。

※弊社広告システムオンライン入稿、メディア入稿、デジタルSEND入稿ともに同じ入稿締め切りです。

2 広告原稿サイズ

朝刊広告原稿サイズ 2023/5/15～

○縦サイズ

縦 (段)	サイズ (mm)
15	513
14	479
13	444
12	410
11	376
10	341
9	306
8	272
7	238
6	204
5	169
4	135
3	101
2	66
1	32

○横サイズ (新聞1頁分)

横 (割)	サイズ (mm)
1 / 1	381
1 / 2	189
1 / 3	126
1 / 4	94
1 / 5	75
1 / 6	62
1 / 8	46

○横サイズ (2連版)

横 (割)	サイズ (mm)
1 / 1	785
1 / 2	391
1 / 3	259
1 / 4	193

○雑報広告

種別	サイズ (横×縦mm)
題字下	75×32
記事中 7×4 c m	70×40
突き出し 3.5×6.6 c m	35×66
突き出し 5.25×6.6 c m	52.5×66
突き出し 5.25×10.7 c m	52.5×107
記事挟み 1×3.2 c m	10×32

※おとプラ、a s s hは企画書をご覧ください。

3 イラストレータ 原稿制作の注意事項(1)

1 使用フォント

PostScriptフォントを使用し、アウトライン化してください。文字化けの原因となります。

2. 文字サイズ・線幅

- ・文字サイズ：黒字・白抜きともに4pt以上
- ・罫線：実黒線／0.1pt (0.035mm) 以上
白抜き線／0.4pt (0.141mm) 以上

※細かいフォントや背景があるとき、新聞印刷では再現されないことがあります。注意してご使用ください。

3. 広告枠の設定

広告枠はアートボードサイズと同じサイズに罫線を引き、線の外側が広告サイズになるように設定してください。罫線がセンター揃え（デフォルト設定）ですと線の半分がはみ出ますのでご注意ください。整列→アートボードに整列を使用すると正確に配置できます。

4. 色の設定

- ・モノクロ原稿：グレースケールを使用してください。
- ・カラー原稿：CMYKを使用してください。

※RGB・スポットカラー（カスタムカラー）は使用できません。

※二次元コードはモノクロで制作してください。（印刷時に色ズレをおこす可能性があります）

5. オーバープリントの設定

オーバープリントは使用しないでください。

6. 不要なオブジェクト

広告罫の外側にアンカーポイント（孤立点）や原稿制作時の不要な部品などが残っていると、弊社RIPでは原稿の一部として認識し、それを含んだ範囲を入稿原稿として処理します。入稿原稿に不要なものはすべて削除してください。トンボ・ガイドライン・掲載情報なども不要です。

7. 複雑なオブジェクト

複雑な図形など、複合パスやオブジェクトが多いデータは入稿処理できないことがあります。ラスターライズ処理をして画像化するかPhotoShopで画像化して、再配置してください。

8. ラスターライズの設定

カラー原稿はCMYK、モノクロ原稿はグレースケール、解像度は300ppiを選択してください。解像度が低いとグラデーションがなめらかにでない恐れがあります。

9. パターンオブジェクトは分割拡張

Illustratorでパターンを使用している場合、エラーとなることがあります。当該のオブジェクトを選択し、ラスターライズするか、分割拡張してください。

※ドキュメント情報ウィンドウ→選択内容のみのチェックを外す→オブジェクトでどのようなオブジェクトがあるか確認できます。

3 イラストレータ 原稿制作の注意事項(2)

10. レイヤーの設定

- ・入稿原稿のレイヤーはすべて結合してください。
- ・レイヤーオプション内の表示・プリントにチェックを入れてください。

11. 総インキ量（TAC値）

すべてのオブジェクト・画像の総インキ量（TAC値）は250%以下としてください。

12. 不可視オブジェクト不可

不可視オブジェクトがないように、オブジェクトを確認してください。

13. 透明効果はN-PDF未対応

N-PDFはぼかしやドロップシャドウなど透明効果、透明オブジェクトに対応していません。使用している場合は「アピアランスの分割」をし、「透明部分の分割・統合」でプリセット「高解像度」で分割・統合し、分割された画像をグレースケールに変換するなどしてください。

14. 出力解像度（アウトプット値）

800dpi以上に設定してください。

※1200dpi（弊社RIP時の出力解像度）を推奨します。

■配置素材について……写真などの画像を取り込み、Photoshopで原稿用画像として制作・補正する際は、注意が必要です。新聞印刷の特性を考慮した調整をお願い致します。

モノクロはグレースケールまたは2階調、カラーはCMYKの素材としてください。

■原稿の保存について……処理によっては元に戻せない処理があります。処理前やN-PDFで書出す前に、適宜AIデータで保存してください。

4 PhotoShop 原稿制作の注意事項(1)

1. 新潟日報のスクリーン設定

- スクリーン線数：モノクロ 141 lpi (line/inch)
カラー 210 lpi (line/inch)
※画像の出力解像度はスクリーン線数の2倍が目安です。新聞印刷では解像度を高くしても、データ容量が増える反面、紙面品質差はあまりありません。

- 網点角度（X軸を0度とする）
シアン（C）：75度
マゼンダ（M）：15度
イエロー（Y）：0度
スミ（K）：45度

- 網点形状： ROUND（円）

- RIP時の出力解像度： 1200 dpi (dot/inch)

2. 画像のトリミング

スキャナーで写真等を入力する際には、Illustratorに配置するときの使用倍率・サイズ等を考慮して取り込んでください。取り込み後の画像をIllustratorで無理に拡大・縮小することは避けてください。

Illustratorでマスク処理をして画像の使用部分を生かすと、隠れている不要なデータも存在するため、データ容量が大きくなります。余分な部分はPhotoshopにてトリミングを行ってください。

3. モノクロデータの作成

- グレースケールを使用する場合
 - ・カラーモード：グレースケール
8bitチャンネル
※16bitチャンネルはRIPで対応しておりません。
 - ・画像解像度：200ppi程度に設定

- モノクロ2階調を使用する場合（ロゴ等の制作）
ロゴ等の制作は、通常下絵をグレースケールでスキャンし、Illustratorでトレースしたアウトラインデータを使用してください。
モノクロ2階調モードでロゴを制作する場合、解像度出力は1200ppi (pixel/inch) に設定してください。

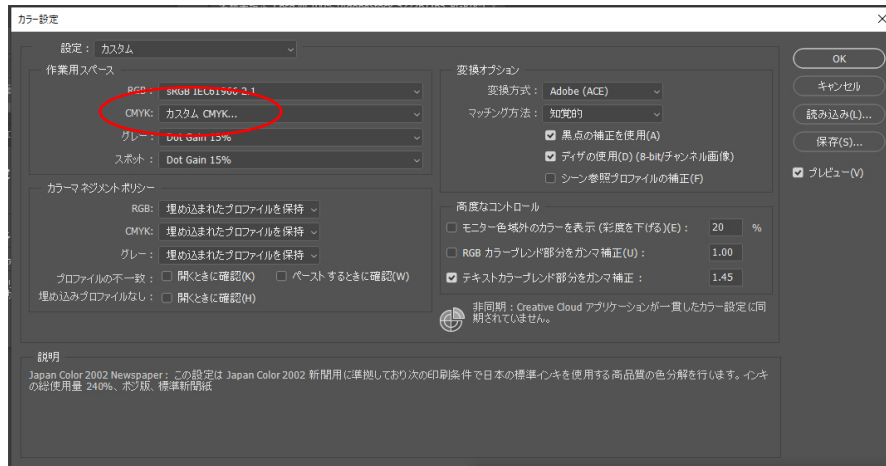
- ※モノクロ2階調の場合、サイズは原寸または縮小を使用してください。

4 PhotoShop 原稿制作の注意事項(2)

4. カラーデータの作成

○カラー設定

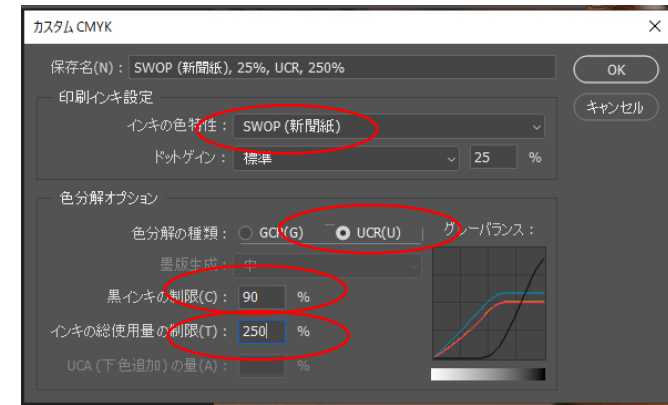
- (1) 作業用スペースの「CMYK」の設定
通常「カスタムCMYK」を選択する。



※NSAC、JCN準拠の色変換をする際は、この欄に当該のプロファイルデータを当てはめてください。ただし画像を保存する際はプロファイルを埋め込まないでください。

(2) カスタムCMYKの設定

保存名(適宜設定)、UCR、黒インキの制限、インキ総使用量の制限は次の図を参考にしてください。UCRは250%以下に設定してください。



※RGBカラーからCMYKカラーへの変換の際に、この設定が反映されます。その際、色域の違いから画像の色味が変わりますのでご注意ください。

(3) 補正、調整時の設定

カラーモードは「CMYKカラー」を選択
→8bitチャンネルがチェックされていることを確認
→画像解像度は250dpi (dot/inch) 程度に設定

※色変換・補正するには注意が必要です。まずRGB、Labモードでおおまかな色調整し、細かな調整をCMYKカラーモードで行う手順も有効です。

※不安がある場合は、新聞製作に対応した制作会社、弊社広告代理店をご利用ください。

4 PhotoShop 原稿制作の注意事項(3)

5. クリッピングパスの使用

クリッピングパスを使用するとIllustratorで配置する際に、描画オブジェクトを分離してその部分を透明にすることができます。

- (1) ペンツールを使用し、使用したい範囲を選択
→パスを保存（パス名は適宜設定）
- (2) クリッピングパスを選択
→クリッピングパスメニュー平滑度を設定
※輪郭をなめらかに切り抜くには0~0.2の範囲で適宜設定してください。
→クリッピングパスを保存→Illustratorに配置

6. 画像保存時の設定

- (1) PhotoshopEPS形式
PhotoshopEPS形式で保存してください。

※保存の際は、レイヤーは統合し、アルファチャンネルは削除、スポットカラーは使用しない、カラープロファイルは埋め込まないでください。

- (2) EPSオプション
 - ・プレビュー：モノクロ2階調は TIFF(1bit/pixel)
カラー・グレースケールは TIFF(8bit/pixel)
 - ・エンコーディング：ASCII85、ASCII、JPEGのいずれかを適宜選んでください。

※JPEG圧縮は非可逆圧縮のため画像の劣化にご注意ください。

- ・ハーフトーンスクリーンを含める：OFF
- ・トランスファ関数を含める：OFF
- ・ポストスクリプトカラーマネージメント：OFF
- ・画像補間方式：OFF

□新聞印刷のドットゲイン……写真が暗くなる、中間調が出にくいといった原因の多くがドットゲインに起因するものです。写真データは商業印刷用に比べて明るめに、例えば色調補正のトーンカーブで中間調を明るくするなどの調整をしてください。

ドットゲインはデータ上で50%の部分におよそ20~25%のつぶれが発生し、75%程度の階調（トーン）として印刷されます。

またドットゲインにより80%を超える階調の網点の再現は困難で、ベタと識別が難しくなります。ご注意ください。

□インキ量が多いことによる印刷不良……インキ量が多いと対向面移り、裏抜け、裏移り、よごれ、つぶれの原因となります。TAC値は250%以下に抑えてください。

5 PDFの書き出し・プリフライトチェック

1. プリセットを使って入稿PDFの保存

Illustrator

ファイル→複製を保存→ファイル形式：AdobePDF(pdf)

(1) ファイル名、保存先を指定して、保存

(2) AdobePDFを保存パネル

→AdobePDFプリセット：「N-PDF201207.joboptions」

または「PDFX4新潟日報用.joboptions」を選択

→PDFを保存

2. プリフライトプロファイルを使ってデータのチェック

(1) 保存したPDFファイルを、AcrobatProで開く

(2) 編集→プリフライト

(またはツールパネル→印刷工程→プリフライト)

(3) プリフライトプロファイルの選択

入稿データに合わせて、N-PDFのカラー用またはモノクロ用のファイル、またはPDFX4新潟日報のカラー用またはモノクロ用から選択

(4) 解析→結果

×はエラー、iは情報ですのでご確認ください。

※エラーはIllustratorの元のAIデータから修正してください。

3. PDFのUCRのチェック

AcrobatのプリフライトチェックではUCRのチェック、オーバープリントのチェックはおこなわれません。出力プレビューで確認してください。

(1) ツール→印刷工程→出力プレビュー

出力プレビューパネルを表示

(2) 「オーバープリントをシミュレート」をチェック、プレビュー：色分解、「領域全体をカバー」

をチェックし数値：250

(3) 250%を超えているところに指定の色が付く

4. その他

- ・配置した画像はすべて埋め込み保存してください
- ・データ容量は200MByte以下（2連版は400MByte以下）にしてください。
- ・ウイルスチェックは必ずおこなってください。

■原稿の確認について……確認は入稿データ（N-PDFまたはPDF/X-4新潟日報用）でおこなってください。

■原稿の保存について……処理によっては元に戻せない処理があります。処理前やN-PDFまたはPDF/X-4で書出す前に、適宜AIデータで保存してください。

新潟日報社デジタル入稿ガイド Ver.4.1

発行：株式会社 新潟日報社 統合営業本部ビジネス局

〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1

編成部 tel.025-385-7422 FAX.025-385-7428

- 本ガイドの内容の一部または全部を（株）新潟日報社の許可なしに転用・改編することを禁じます。
- 本ガイドの内容は円滑な広告原稿データ制作・入稿を目的としており、予告なしに変更する場合があります。
- 本ガイドに記載されたすべての社名、製品名、ロゴなどは個々の所有者の登録商標・商標です。